

平成27年度北海道根室高校学校評価のまとめ

	本校の経営方針及び 指導上の重点事項	自 己 評 価			学校関係者評価
		主な成果と課題	H27	改善の方策	
学校経営	①本校が目指す姿を明確にし、校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、協働体制の確立に努める ②生徒一人一人の個性や能力を伸張させ、進路希望を実現する教育課程の編成・実施及び21世紀型学力を身に付けさせる授業の改善に努める。 ③教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に活力あふれる教育活動を展開し、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに努める。	○単位制への移行を踏まえた学校経営方針及び目指す学校像を示し、教職員の共通理解の促進に努めた。 ○各分掌・学年において教育活動の改善に向けた具体的な取組の検討が行われるとともに、新たな取組のいくつかが実施された。 ○HPの定期的な更新や各種説明会の実施、パンフレットの市内配置など、学校情報の積極的な公開・連携に努めた。 ○学校に対する様々な意見を把握し教育活動の改善に一層役立てることができるよう学校評価の見直しを行った。 ○地域清掃や防災安全教育、ねんりんピック等の地域行事への参加など地域と連携した活動に積極的に取り組んだ。 ●単位制移行を踏まえ目指す学校像の共有化、共通理解を一層図る必要がある。 ●教育活動の状況について適切に評価・検証し、継続的に改善に努める必要がある ●効果的な情報発信及び地域との連携による学習活動を一層工夫する必要がある。	3.1	・国の動向や地域の教育課題を踏まえた計画的、系統的な研修の充実による教職員の共通理解の促進 ・時代の変化や学校課題に対応した分掌の再編など組織力を高める改善の検討 ・組織的・系統的な学校評価の一層の充実 ・HP情報の充実や説明会の開催、学校広報誌の活用など情報発信の一層の促進 ・学校行事への積極的な案内など保護者や地域住民に対する教育活動の公開の促進 ・地域や関係機関と連携したボランティア活動の一層の充実 ・研究指定や研究事業などの積極的な活用	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・学校ホームページで情報を的確に発信している。 ・学校ホームページのトップページの更新を工夫して欲しい。事務情報科が設置されている特色を生かすなどの方法を考えてはどうか。 ・土曜日授業は7時間授業などを行うよりもゆとりが感じられて効果的であると思われる。保護者にとっても土曜日授業は評価が高いので土曜日の有効活用を今後も考えて欲しい。
学習指導	①多様な生徒の進路希望に対応できる教育課程の研究に努める。 ②研修活動をとおして個々の授業改善に努めるとともに、生徒の学習意欲を高めて学力の向上を図る。 ③地域社会の教育力を有効に活用し体験的な学習や実践的な学習を強化して教育活動の充実を努める。 ④調和のとれた授業計画を作成し、学習活動と課外活動の円滑な運営に努める。	○授業時数の確保や特別活動の計画的な実施など教育課程は適切に実施されている。 ○単位制の特色を生かし、生徒の学力の一層の向上を図り多様な進路希望に対応する教育課程の検討が着実に進められている。 ○研究指定の取組を活用したアクティブ・ラーニング（AL）に関する研修会や各教科での実践研究が積極的に行われるなど授業改善の取組が推進されている。 ○生徒授業評価（振り返り）の実施や公開授業週間の設定など教員の指導方法の改善や生徒の学習意欲の向上に関する取組が計画的に実施されている。 ●単位制の趣旨を生かした編成に一層努める必要がある。 ●21世紀型学力の育成を図る授業改善に一層努める必要がある。 ●授業規律の徹底など学習環境の整備に取り組むとともに、自主的・自発的な学習態度の育成に向けた指導の充実を図る必要がある。	3.1	・教育課程の適切な管理と恒常的な検証 ・教育課程に関する全校的な研修の一層の充実 ・授業改善に関する各種研究指定の一層の活用とALに関する研究の推進 ・指導主事訪問における公開教科数の増加や協議会の実施方法の工夫など校内研修の充実 ・授業規律に関する指導の共通理解・共通実践の確認 ・教科担任会議や学年会での教科指導に関する課題の共有化 ・週末課題や宿題など家庭学習を促進する組織的な取組の実施	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・今後は生徒の進路希望や適性をに合わせた支援体制（習熟度別指導等）を充実させる必要があると思う。 ・家庭学習促進に向けた取組が必要であると思われる。家庭学習を自主的・自発的に取り組む習慣が身に付いていない生徒は多いと思う。校種が上がるにつれ家庭学習時間が少なくなるという調査結果も出ており、自主性を求める年代ではあるが、課題や宿題を課すなどの取組が必要である。 ・JRの減便が、部活動や学習活動に影響を及ぼさないか心配である。
生徒指導	①自制・自律の精神を育成する。 ②集団生活の中で社会性と責任感を育成する。 ③命を尊ぶ心と感謝の心を育成する。 ④家庭・地域社会と協力・連携を図り、地域に根ざした生徒の健全育成に努める。 ⑤学校教育相談に関する共通理解を深め、生徒相談室の利用体制を確立する。	○HR等での日常の指導をはじめ、玄関指導や計画的な身だしなみ指導などにより、基本的生活習慣の育成が図られ、多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っている。 ○安全行動に関する日常的な注意喚起のほか、長期休業前等に生活全般の注意を促す保護者あて文書を配布するなど家庭との連携を図り事故防止に努めた。 ○個人面談の実施やサポート委員会の定期的な開催などにより、生徒理解及び情報の共有化を図り、問題行動の未然防止と適切な対応に努めた。 ○「いじめ」に関する調査やネットパトロールの定期的な実施など、いじめやネット犯罪・トラブル等の防止に努めた。 ○活発な生徒会活動や部活動など生徒の自主的・自発的な活動が推進されている。 ●基本的生活習慣や規範意識の育成に向けた指導の一層の充実を努める必要がある。 ●「いじめ」をはじめ、事故防止に向けた指導の一層の充実を図る必要がある。 ●教育相談体制の一層の充実を図るとともに、特別な支援を要する生徒など多様な生徒に対応した指導体制を整備する必要がある。	2.9	・基本的生活習慣や規範意識の育成に関する指導の教職員の共通理解の一層の促進 ・日常的な連絡等家庭・関係機関との連携の継続と一層の推進 ・いじめ防止基本方針に基づいた指導の徹底 ・スクールカウンセラーの一層の活用等教育相談の充実に向けた組織体制の整備 ・多様な生徒に対するアプローチの仕方などに関する研修の実施 ・自主的・自律的な生徒会活動の一層の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・生徒の校外での生活態度は問題ないとする。特に生徒の規範意識が疑われるような話しも聞かない。登下校の様子を見てもしっかりとしている。 ・特別な支援を要する生徒に対応して、スクールカウンセラー等の訪問回数増加などの支援体制の構築が必要である。
進路指導	①個々の生徒の能力や適性に応じた進路指導に努め、進路希望の実現に向けた支援体制を整備する。 ②3年間を見通した進路指導計画を作成するとともに、段階的で具体的な実践計画を推進する。 ③早期に生徒の進路意識を向上させるため、積極的に効果的な進路情報の提供に努める。 ④生徒が自ら進路情報を検索し入手できるよう、進路資料の整備や進路相談の充実を努める。	○進路別ガイダンスや情報提供、講習や面接練習など計画的な指導により、就職・進学両面で生徒の進路希望が概ね達成された。 ○インターシップや外部講師による職業講話の実施など望ましい職業観・勤労観の育成に努めた。 ○合宿や長時間集中方式による勉強会の実施など進学指導の充実に向けた取組が推進されている。 ●キャリア教育の視点に立った指導の一層の充実を図る必要がある。 ●単位制への移行を踏まえ、多様な進路に対応した指導の一層の充実を図る必要がある。（進学指導の一層の充実）	3.1	・キャリア教育の全体計画の見直しと計画に基づいた取組の推進（インターンシップの充実） ・進路希望実現までのプロセスを早期に理解させ積極的に取り組ませる指導の推進 ・教科選択等ガイダンスの充実（学習指導との連携） ・進路状況の詳細な分析と活用 ・各教科における受験体制の確立（データ収集、新テスト対応など）	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・アンケートから生徒への進路情報の提供は問題ないが、保護者にとって情報不足であるという結果が出ている。生徒の希望を吸い上げ、その上で保護者と連携を密にするための方 策が必要である。 ・進路について、担任等と相談する機会をもっと増やして欲しい。 ・インターンシップの経験は生徒にとっては非常に効果的である。今後も充実させて欲しい。
健康・安全指導	①生徒の健康の保持増進と安全意識の高揚に努める。 ②応急処置の指導をとおして意識の進化を図る。 ③校舎内外の整備と美化をとおして、環境意識を高める。 ④計画的な保健指導を確立する。	○先進的な防災教育をはじめ、学校の教育活動全体を通した計画的・系統的な指導により、生徒の自ら健康・安全を守る実践力の育成に成果をあげている。 ○警察や消防、保健機関等の関係機関と連携・協力し、指導の充実を努めた。 ○新体力テストを実施し生徒の体力の状況を把握するとともに、教科や特別活動（晴大など）、運動部活動などを通して体力向上と運動に親しむ態度の育成に努めた。 ●自転車通学時の交通マナーの向上等、交通安全指導を一層充実させる必要がある。 ●運動部活動の加入促進等、運動に親しみ体力の向上を図る指導を一層充実させる必要がある。	3.3	・学校保健・安全計画及び個別の指導計画の周知徹底 ・交通安全意識を高める効果的な指導の工夫 ・生徒・保護者への適切な情報の提供 ・新体力テストの結果を活用した体力向上を図る取組の工夫 ・効果的な指導方法に関する研修の実施など運動部活動の充実	○自己評価については概ね適切な評価である。 〔意見等詳細〕 ・校門前のロータリー周りの安全を保護者・生徒に周知することが必要である。

※自己評価における数値は、各項目を「4・・・十分達成できている。3・・・達成できている。2・・・やや不十分である。1・・・不十分である。」で全教職員が自己評価した平均値